

Door Stabilizer

ドアスタビライザー No. NDA1 V5 4A0

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川 2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ドアスタビライザー をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付けるときの注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取り付けの際には、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。また、取付完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

適合車種

最新の適合情報は、AutoExeウェブサイトをご覧ください。

https://www.autoexe.co.jp/?page_id=152821

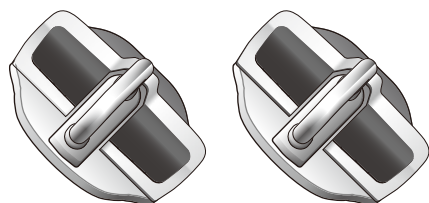


構成部品

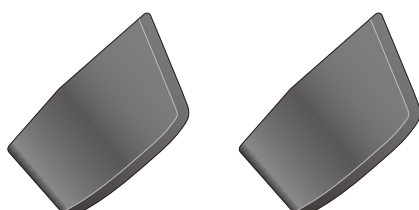
No.	部 品 名 称	仕 様	数 量
①	ストライカー		2
②	プレートA		2
③	プレートB		2
④	プレートベース		2
⑤	トルクスボルト	T40 M8 × 15	4
⑥	取付・取扱説明書	本書	1

※本製品は、左右ドア用に各1枚ずつのセットとなっており、2ドア車に対応した構成です。
4ドア車へ装着する場合は、2セット(2箱)ご用意いただく必要があります。

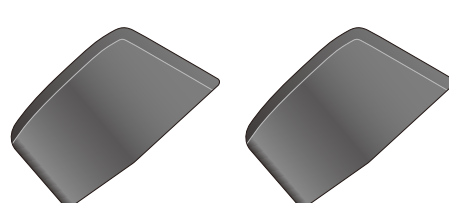
①



②



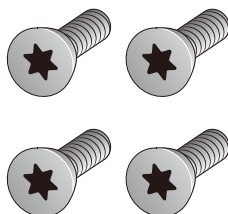
③



④



⑤



取付けに必要な工具

トルクスレンチT40 トルクレンチ (締め付けトルク 5N・m/23N・m)

⚠ 警告(取付時)

1. 本製品を適合車種以外に装着すると、ドアが完全に閉まらなくなり、車両故障の原因となります。また、走行中にドアが開放された場合、重大な事故を招くおそれがあります。
2. 取付作業は、設備の整った専門工場にて、有資格整備士が行ってください。
3. 取付けの際は、基準トルクに従い、各ボルト類を確実に締め付けてください。締付けに緩みがあると、使用中に徐々に緩みが進行し、脱落などにより重大な事故を招くおそれがあります。
4. 取付後はドアを開閉し、本製品がドアや車体に干渉しないか必ず確認してください。干渉した状態で使用すると、ドアの開閉が困難になったり、走行中にドアが開放されるなど、事故の原因となります。
5. 本製品装着後に衝突などの強い衝撃を受けた場合は、直ちに使用を中止してください。取付部や本体に変形・破損・故障が生じ、ドアの開閉不良やドア開放の原因となるおそれがあります。
6. 本書に記載のない方法での作業、またはやむを得ない場合を除く製品の加工・改造・分解および車両の改造は、絶対に行わないでください。事故や破損の原因となります。
7. 純正部品の取外し・取付作業は、マツダ株式会社発行の整備書を参考にしてください。

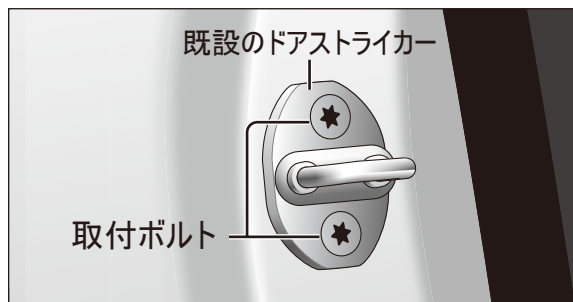
⚠ 注意(取付時)

1. 取付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油分など)を十分に取り除き、確実に取り付けてください。
2. 車両ボルトを再使用する場合、ボルトにさびや劣化が見られるときは新品に交換してください。放置すると本製品の脱落の原因となります。
3. 他社製品による改造が施されている車両には取り付けしないでください。本製品の破損や車両損傷の原因となります。
4. 可動部には指を入れないでください。ストライカーのスライド部に指を挟むと、けがの原因となります。
5. プレートベース端部の鋭利な部分にご注意ください。けがの原因となります。

⚠ 警告(ご使用時)

1. 本商品装着後に、車両が衝突などの強い衝撃を受けた場合は使用しないでください。ドアや車体または本製品が変形・破損したまま使用すると、ドアの開閉が困難になったり、走行中にドアが開放され、事故の原因となります。
2. 走行中に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。事故の原因となります。

装着作業(ボディ側)

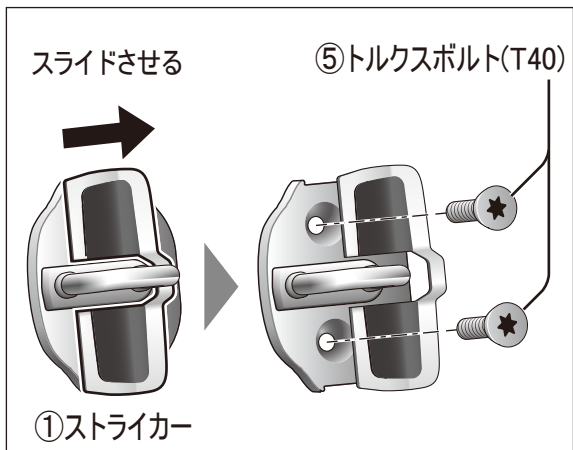


1. ドアストライカーを固定しているトルクスボルト2本を取外し、純正ドアストライカーを取外します。



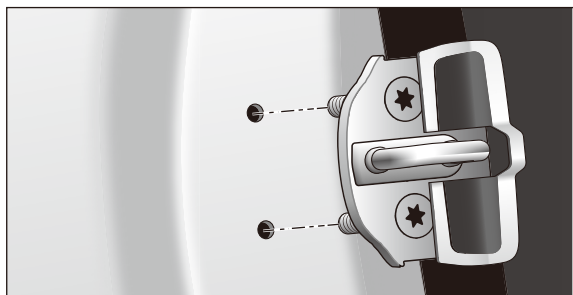
アドバイス

取外した純正トルクスボルトは再使用しません。



2. ストライカーのスライド部分をスライドさせた状態で、
①ストライカーにキット内の⑤トルクスボルト(T40)2本を挿入する。

装着作業 (ボディ側)



3. 車両への傷付き防止のため、①ストライカーが取り付け周囲をマスキングテープで保護し、①ストライカーを車両にあてがう。

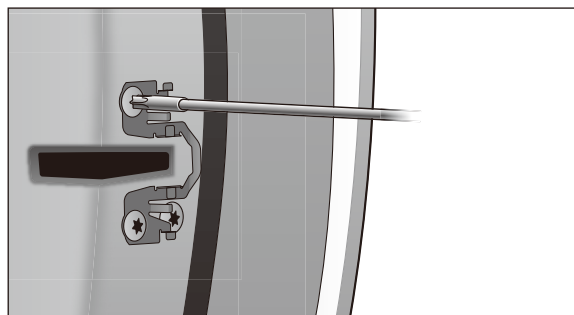
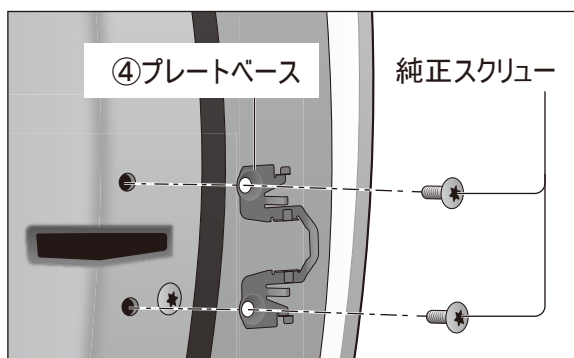
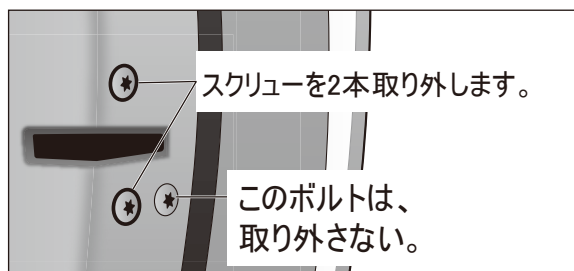
4. ⑤トルクスボルトを締め付けて固定する。

基準値 23N・m

⚠ 注意

- ・ 締め付けトルクを厳守して作業を行ってください。本製品が脱落しドア開放や傷付きの原因となります。
- ・ ⑤トルクスボルト (T40) は均等に締め付けてください。
- ・ ⑤トルクスボルト (T40) を締め付けが完了するまでは、スライドを解除しないように注意してください。(スライドを解除した場合、工具との接触によりスライド部分に傷が付くおそれがあります。)

装着作業 (ドア側)



5. ドアロックを固定しているスクリー2本を取外す。

⚠ 注意

- ・ 図示の2本以外のスクリーは取外さないでください。取外した場合、車両破損の原因となります。

6. 5で取外した純正スクリーを使用して、④プレートベースを仮止めする。

⚠ 注意

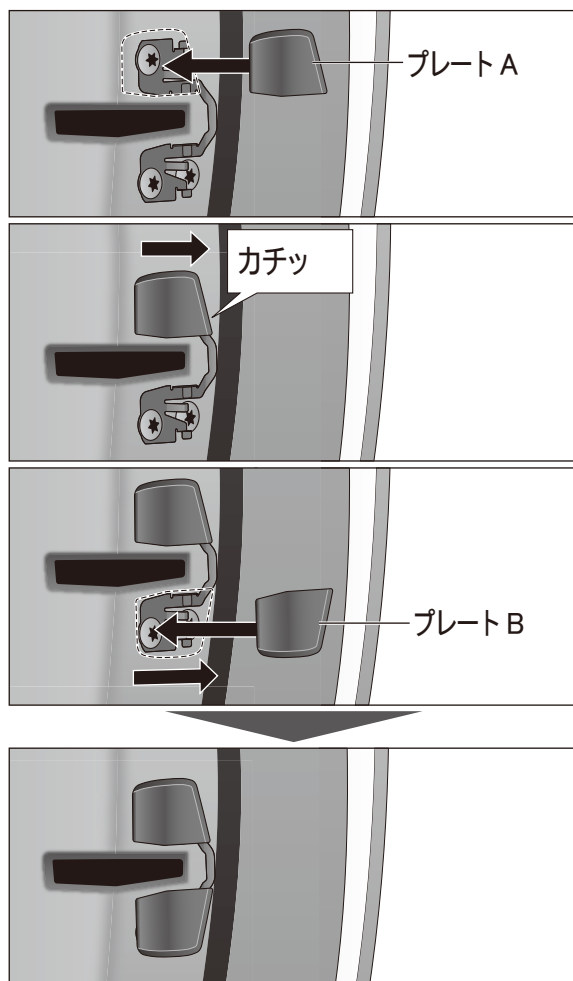
- ・ 仮止め時④プレートベースがまっすぐずれないように、均等・交互に締め付けてください。

7. 純正スクリーを規定トルクで締め付け、④プレートベースを固定する。

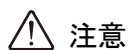
基準値 5N・m

⚠ 注意

- ・ 基準値を超えたトルクで、締め付けすると(④プレートベースが変形し、②プレートA および③プレートB の取付けができなくなります。)



8. プレート A・プレート B を、プレートベースに取り付ける。

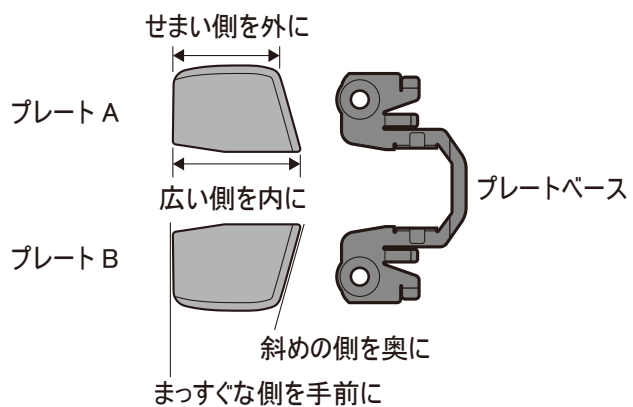


注意

- ・ 下図にしたがい正しい向きでプレートベースにあてがい、カチッと音がするまでスライドさせて取り付けます。

■ プレートの取り付け向き

下記の向きで取り付けてください。

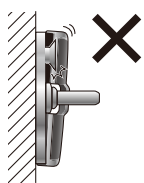
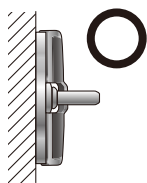


- 左座席側のドアは、プレートBが上、プレートAが下になります。

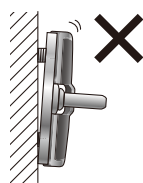
取り付け作業後の確認

■ ストライカーの取り付け確認

- がたつきがなく、しっかりと固定されていますか？



ボルトの頭をスライド部に接触させない。



ストライカーと車体の間に隙間を作らない。

- 正しい向きで取り付けられていますか？



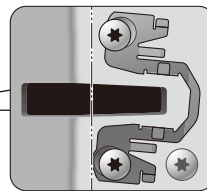
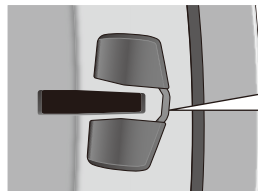
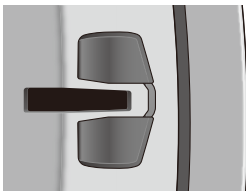
可動部が車室内に向かって可動する向きで取り付ける。



車外に向かって可動する向きに取り付けない。

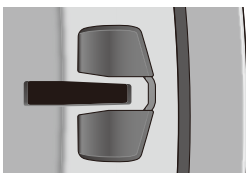
■ プレートの取り付け確認

- ゆるみやがたつきがなく、しっかりと固定されていますか？



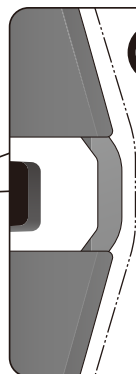
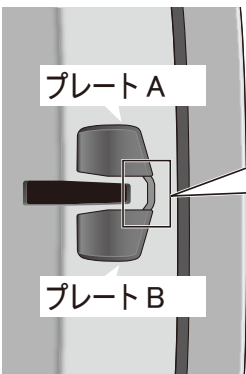
プレートベースを、ねじ穴がずれた状態で取り付けない。

- 正しい向きで取り付けられていますか？



ストライカーがはまる穴を塞がない向きで取り付ける。

- プレートA・プレートBが、プレートベースに正しく固定されていますか？



プレートA・プレートBとプレートベースに段差がないことを確認してください。



段差がある場合は、プレートA・プレートBをカチッと音がするまで矢印の方向に押しつけてしっかりと固定してください。



■ 作動確認

- ゆっくりとドアを開閉し、以下の作動を確認してください。
スムーズに開閉すること
がたつきや引っかかりがないこと